

先端光科学分野で活躍する企業各社ならびに東京大学、電気通信大学、慶應義塾大学が共同実施

2024  
年度  
夏学期

# 先端光科学講義I 先端光科学実験実習I

## 開講とガイダンス開催のご案内

大学院科目 先端光科学講義I、先端光科学実験実習Iの履修に関するガイダンス

**日時** 2024年4月8日(月)10時25分より

**会場** 東京大学本郷キャンパス化学本館5階講堂(ハイブリッド開催を予定)

**対象者** 東京大学、電気通信大学、慶應義塾大学に在籍する大学院生

**【注意点】** 本ガイダンスでは、履修や受講にあたっての注意点を説明します。実験実習科目の受講を希望する学生は、ガイダンスにできるだけ参加して下さい。また、履修は東京大学の学生はUTASによる履修登録、電気通信大学、慶應義塾大学の学生は、所属する各研究科、専攻事務を通じた履修登録が必須です。

### ■ 先端光科学講義I

Sセメスター／夏学期(4～7月)の毎週月曜日10:25～12:10  
東京大学本郷キャンパス理学部化学本館4階講義室にて開催

### ■ 先端光科学実験実習I

Sセメスター／夏学期(4～7月)の毎週火、水、木曜日午後1:00より  
東京大学本郷キャンパス理学部化学本館1003号室にて開催

### ▼ 詳細はWebをご覧ください

URL <http://www.cuils.s.u-tokyo.ac.jp/coral-ut/>

問合せ先： 東京大学大学院理学系研究科附属アト秒レーザー科学研究センター CORAL事務局

電話番号： 050-5526-8259

メールアドレス： [secretary-coral@chem.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:secretary-coral@chem.s.u-tokyo.ac.jp)



2024年3月31日

東京大学，慶應義塾大学，電気通信大学に在籍する大学院生の皆さんへ

## 2024年度夏学期（Sセメスター・前期）CORAL 講義・実験実習を 4月より開講します

先端レーザー科学教育研究コンソーシアム CORAL では，2024年度の講義科目「先端光科学講義 I」と実習科目「先端光科学実験実習 I」を，東京大学大学院理学系研究科，工学系研究科，電気通信大学，慶應義塾大で開講します。本科目の受講希望者向けガイダンスを4月8日（月）午前10時25分より，東京大学本郷キャンパス理学部化学本館5階講堂で開催します。履修申込み方法など説明しますので，履修希望の方はご出席ください（ガイダンス出席の有無は履習とは関係ありません）。今学期の開講内容は，CORAL ウェブサイトをご覧ください（<http://www.cuils.s.u-tokyo.ac.jp/coral-ut/>）。

「先端光科学講義 I」の受講を希望する方は，受講者確認と講義資料共有のため，所定の登録期間（4/8(月)正午頃～4/15(月)午後6時）に，CORAL ウェブサイトより講義受講を申し込んで下さい。こちらに登録したアドレスに講義資料などをお送りします。

「先端光科学実験実習 I」の履修を希望する方は，希望の「実験実習種目」ならびに「受講希望曜日」を CORAL ウェブサイトより申し込んで下さい。ウェブサイトでの履修申込み期間は，同じく4/8(月)正午頃～4/15(月)午後6時です。

実験実習種目それぞれの1日あたりの参加人数が限られているため，できるだけ履修者の希望に沿えるように「実験実習種目」と「受講日」を割り当てますが，必ずしも希望に添えるわけではないことを了承下さい。他の講義や研究活動と開講日が重複して実習を履修できない曜日，日程があらかじめわかっている場合には，メール，もしくは履修申込み時にウェブサイトよりご連絡下さい。

ウェブサイトから行う申込みは，皆さんが所属する研究科・専攻の履修登録とは別の「参加登録」です。履修を希望する皆さんは各自の所属する研究科・専攻の履修登録も行なって下さい。今学期，それ以前の開講種目，ならびに参考として過去の開講種目はウェブサイト（<http://www.cuils.s.u-tokyo.ac.jp/coral-ut/>）に掲載されています。履修に関して，ご不明な点がございましたら，以下の問い合わせ先までご連絡下さい。



問い合わせ先： 東京大学大学院理学系研究科  
附属アト秒レーザー科学研究センター  
電子メール： [secretary-coral@chem.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:secretary-coral@chem.s.u-tokyo.ac.jp)  
Website： <http://www.cuils.s.u-tokyo.ac.jp/coral-ut/>  
電話： 050-5526-8259

## 2024 年度前期（夏学期・S セメスター） 先端光科学講義 I 内容

開講時期： 夏学期(前期, 4~7 月) 月曜日 2 時限(10:25~12:10)

開講場所： 東京大学本郷キャンパス理学部化学本館 4 階講義室

(対面・オンライン併用型(総時間数の半数以上を対面で実施))

(随時、最新情報をウェブサイトを確認すること)

日程	タイトル
	内容
4/ 8(月)	ガイダンス
5/27(月)	空間光変調器とその応用 浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 井上 卓
	位相変調型空間光変調器は、光の位相の空間分布=波面を制御することができる。波面制御によって収差補正・ビーム分岐・ビーム形状制御が可能のため、レーザー加工や眼底イメージング、顕微鏡などへの応用が研究されている。空間光変調器の原理、性質、使用上の注意と、各種の応用事例を説明する。 キーワード：空間光変調器、光学、波面制御、液晶、フーリエ変換光学系、収差、回折、光渦（ラゲールガウスビーム）
6/ 10(月)	ランプによる UV 光及び VUV 光の発生方法と産業界での光の応用 ウシオ電機株式会社 吉岡正樹
	神社仏閣の松明はどのような原理による光源だろうか？講義の最初に人工光源を大別し、光を取り扱う上で重要な物理量について解説する。次に、人工光源のうちガス放電ランプ、特に紫外(UV)域から真空紫外(VUV)域の光を発するランプの発光原理を解説し、これらのランプの産業界における応用について紹介する。最後に、これからの光のあり方について一緒に考えてゆく。 キーワード：放電ランプ、原子・分子・エキシマ発光、紫外光、真空紫外光、光化学反応
6/17(月)	光の量子性と光子計数法 東京大学大学院工学系研究科附属光量子科学研究センター 小芦雅斗
	輻射場の量子性について説明し、光と物質の相互作用における光の量子効果について解説する。さらに実習と関連し、光の量子論的制御法とその検出法についても解説する。 キーワード：光子、光の量子論、光子統計、非古典光源
6/24(月)	ハイテクを支えるものづくり シグマ光機株式会社 志田純章
	光源、位置制御、光学部品などのユニットは、目的に応じた形で組み合わせられることによって、最先端アプリケーションシステムの構築に応用されている。個々の構成要素がいかに組み合わせられて、最新システムが構成されているかを学ぶ。 キーワード：研磨、蒸着膜、ハイパワーレーザー、干渉、光学の基礎、レーザー加工

7/1(月)	<p>光学産業における光学技術 株式会社ニコン 光学本部 菅谷綾子</p> <p>光学産業で行われている研究開発の事例を紹介しながら、大学の光学教育であまり触れられない幾何光学・収差論・結像論の要点を解説する。光学産業をより身近に感じるための講義である。 キーワード：光学、光学産業、幾何光学、結像</p>
7/8(月)	<p>高速度撮影とその応用 株式会社ナックイメージテクノロジー 佐々木裕康</p> <p>高速度カメラは、ミリ秒以下の高速現象を高時間分解の時系列画像として取得できるツールとして幅広い研究用途で用いられている。本講義では、高速度カメラの歴史的発展と最新性能について紹介するとともに、高速度現象の動画像を取得することで可能になる計測について、目的に応じた様々な動画像計測の手法を学ぶ。 キーワード：高速度カメラ、デジタル画像、可視化技術、光学計測</p>
7/22(月)	<p>科学と技術の再結合を考える 電気通信大学 レーザー新世代研究センター</p> <p>筆者は数多くのプロジェクト研究、それも科学研究に従事した経験を持つ。純粹科学研究を通じて新規技術の開発にどのように寄与すべきか、事例紹介をしながら、科学と技術を再結合させる道を議論する。それは同時に、みなさんがこれから歩もうとする研究者、技術者の生き方についても参考になると信じる。与えられた機会を最大限活用すれば、雇われ仕事は自己発見の最大のチャンスともなりうることを示し、研究者、技術者として自己実現しようと考えている若い学生諸君の参考に供する。 キーワード：ファイバーレーザー、セラミックレーザー、周波数安定化、重力波天文学、レーザー核融合</p>

## 2024 年度前期（夏学期・S セメスター） 先端光科学実験実習 I 内容

開講時期： 夏学期(前期, 4~7月) 火・水・木曜日 3・4・5 時限(13:00~18:35)

開講場所： 東京大学本郷キャンパス理学部化学本館地階 1003 号室

(随時、最新情報をウェブサイトで確認すること)

日程	タイトル 内容
4/ 8(月)	ガイダンス
5/28(火), 29(水), 30(木)	<p>空間光変調器を用いた光の空間的性質制御 浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 井上 卓, 松本直也, 渡邊 翼</p> <p>空間光変調器 (Spatial light modulator : SLM) を用いた空間的フーリエ変換光学系を構築し, 光波面の基本的な性質を調べる実験を行う. SLM で回折, 収差, 光渦などを生成し, その特性を計測することを通じて, SLM の使い方を習得すると共に, 光学系の基本的な性質を体感する. (6 名) キーワード: 空間光変調器, 光学, 波面制御, 液晶, フーリエ変換光学系, 収差, 回折, 光渦 (ラゲールガウスビーム)</p>
6/ 11 (火), 12 (水), 13 (木)	<p>UV 光の分光法と光化学反応の体験実習 ウシオ電機株式会社 吉岡正樹, 饗庭 彰, 世良英之, 島本彰弘</p> <p>この実習では, 放電ランプの発光の制御方法と光化学反応の基礎について学ぶ. 1つ目の実習では, 超高圧水銀ランプの放射スペクトルを測定し, スペクトルの時間変化から水銀ランプ中の発光現象と分光法を学ぶ. 水銀ランプの発光スペクトルは, 放電ガス圧力に依存して変化することを確認する. 2つ目は, 真空紫外光を用いて大気中酸素からオゾンを生成させ, 吸収スペクトルを測定してオゾン濃度を定量する. また, 真空紫外光照射による撥水性→親水性の変化の材料ごとの違いを体験し, これらの実験を通じて, 光化学反応の基礎を学ぶ. 2つの実習を通して, 様々な放電ランプの構造と特長, そして取扱いを理解する. (6 名) キーワード: 放電ランプ, 分光測定, 光化学反応, ガスの光吸収スペクトル, オゾン</p>
6/18(火), 19(水), 20(木)	<p>光子相関計数法とその応用 東京大学大学院理学系研究科・工学系研究科 森田悠介</p> <p>講義と連携し, 光子相関計数法の実習を行う. 2次の相関に関する簡単な解説を行った後, 光子計数法による2次の相関計測実験を実際に立ち上げる. 計測機器の特性や使用法を学んだ上で, Hanbury-Brown Twiss (HBT) 干渉計を用いてレーザー光や熱的光の光子統計性を調べることで古典的な光や量子光学的な光の識別法について理解を深める. (4 名) キーワード: 光子計数法, HBT 干渉計, 量子光学</p>

<p>6/25(火), 26(水), 27(木)</p>	<p>光学素子の取り扱い方及び製造に必要な基礎技術の実習及び光学素子の評価 シグマ光機株式会社 多幡能徳, 柳川 滋</p> <p>研磨や蒸着前工程などの光学素子製作の体験を通して, 光学性能に影響を与える要因と, 高精度光学素子を支える特殊技能について理解する。自分の目で見て, 自分の手で操作するという体験によって理解を深める。また, 干渉計をもちいた光学素子の評価を体験し, 配置や調整方法, 光学素子・光学部品の取り扱いについて学ぶ。理論を実現化する際に注意すべき箇所や部品の性能による影響などを認識する。(8名)</p> <p>キーワード: 研磨, 蒸着膜, ハイパワーレーザー, 干渉, 光学の基礎</p>
<p>7/3(水), 4(木) 注意: 2日間 参加が必要</p>	<p>レンズ設計・基礎から実戦まで 株式会社ニコン 光学本部 水田正宏, 菅谷綾子, 吉田三環子, 渡邊勝也, 矢島海都</p> <p>レンズ設計実習を通じて幾何光学, 波動光学に関する基礎を会得する。受講者全員にノートパソコンを貸与し, 光学設計の専門家がレンズ設計ソフトを用いて指導する。レンズの特性, 結像の際に生じる収差や評価の基本的な内容から, カメラレンズの自主設計まで行う。2回の実習で完結し, 設計結果講評会で締めくくる。(12名)</p> <p>キーワード: レンズ, 光学設計, 主光線, 収差, MTF (Modulation Transfer Function)</p>
<p>7/9(火), 10(水), 11(木)</p>	<p>高速度撮影とその応用 株式会社ナックイメージテクノロジー 佐々木裕康</p> <p>高速度カメラは, ミリ秒以下の高速現象を高時間分解の時系列画像として取得できるツールとして幅広い研究用途で用いられている。講義で紹介した高速度現象の動画像を取得することで可能になる計測と目的に応じた様々な動画像計測の手法について, 実際の装置を用いて高速度現象の撮影を行い, 撮影のテクニックについて理解を深める。</p> <p>キーワード: 高速度カメラ, デジタル画像, 可視化技術, 光学計測</p>
<p>7/23(火), 24(水), 25(木)</p>	<p>種々のレーザー基礎実験 電気通信大学 レーザー新世代研究センター 米田仁紀</p> <p>自らが手を出してレーザー機器やレーザーを使ったシステムを構築し動作原理など理解する。以下のテーマについて, 最初から製作, 組み立てを行う。</p> <p>(1) レーザーピンセット 生体実験で使われる水中の微粒子を光でトラップし操作するレーザーピンセットをその顕微鏡システムからくみ上げ, 実際にレーザー場に試料をトラップする。(5名)</p> <p>キーワード: 光トラップ, ブラウン運動</p> <p>(2) 窒素レーザー製作 紫外線レーザーの1つである窒素レーザーを, 放電回路, 始動ギャップ, 伝送線路等から製作し, レーザー発振させる(5名)</p> <p>キーワード: 紫外レーザー, 放電, 窒素レーザー</p> <p>(3) 固体レーザー発振 半導体レーザー励起固体レーザー発振および共振器内波長変換を, 励起光および共振器のアライメントにより達成する。励起の空間分布により発振空間モードの変化と共振器の状態について観測する。(3名)</p> <p>キーワード: 固体レーザー, 波長変換, 光のモード</p> <p>(4) ラマン分光 半導体レーザー励起固体レーザーをもちいて, 溶液試料のラマン分光測定装置を構築し, 色素のラマンスペクトル測定を行う。(3名)</p>